



国内外の大手証券会社を経て、2000年にグローバルハートを起業した。当時は確定拠出年金(日本版401k)制度の導入が話題となっていた。かねて「年金制度の崩壊に対して危機感を持っていた」(増田博美社長)こともあり、起業を契機に、確定拠出年金の導入企業に義務付けられている従業員への投資教育の実践コンサルティングに乗り出した。

確定拠出年金法の施行は01年。これに合わせてシステム開発会社のウードム(水戸市)と共同でウェブ対応の投資教育システム「幌馬車の旅」も開発、販売を始めた。その後、確定給付制度の設計や、適格年金から確定拠出年金への移行、厚生年金基金の解散・脱退などのコンサルティンクも手がけ、現在に至る。企業年金問題を通して世間のギャップに引き合う中で、投資教育にとどまら

ICTの挑戦者たち

81

投資教育軸に新領域開拓

電機・電子部品・情報・通信

グローバルハート



増田 博美社長

増田博美社長は、社会保障教育や地域経済の活性化に向けた環境教育にも活躍の場を広げている。システム関連では12年にソーシャル(参加交流型)メディア対応の「政党運営ネット選挙システム」を開発。政党や議員、党員、支持者、一般の有権者が双方向型で意思疎通しながら、登録者の世代別や性別、居住地域、関心事項

が把握できる仕組みを実用化した。インターネットによる直接投票の模擬実験なども実施。ネット選挙の際に世代ごとに集計できるシステムで特許を出願した。一方で出身地の鹿児島県が抱える農業の活性化などの問題に引き合う中で自然環境問題にも関与。縁あって、二酸化炭素(CO2)の測定を通じて環境教育に注力する名古屋産業大学と連携。同大が環境教育の目玉に据える長期インターンシップ(就業体験)に賛同。401kで培ってきた投資教育を学生向けカリキュラムに提供するなど協力

が把握できる仕組みを実用化した。インターネットによる直接投票の模擬実験なども実施。ネット選挙の際に世代ごとに集計できるシステムで特許を出願した。一方で出身地の鹿児島県が抱える農業の活性化などの問題に引き合う中で自然環境問題にも関与。縁あって、二酸化炭素(CO2)の測定を通じて環境教育に注力する名古屋産業大学と連携。同大が環境教育の目玉に据える長期インターンシップ(就業体験)に賛同。401kで培ってきた投資教育を学生向けカリキュラムに提供するなど協力

企業メモ

- ▷設立=2000年(平12)
- ▷主要業務=企業年金コンサルティングやシステム販売などを含む公共教育・サービス事業
- ▷従業員=5人
- ▷連結売上高=非公表
- ▷所在地=東京都中央区銀座7の13の2

(編集委員・斎藤美)